



全身疾患の根本治療と 歯科の関わり

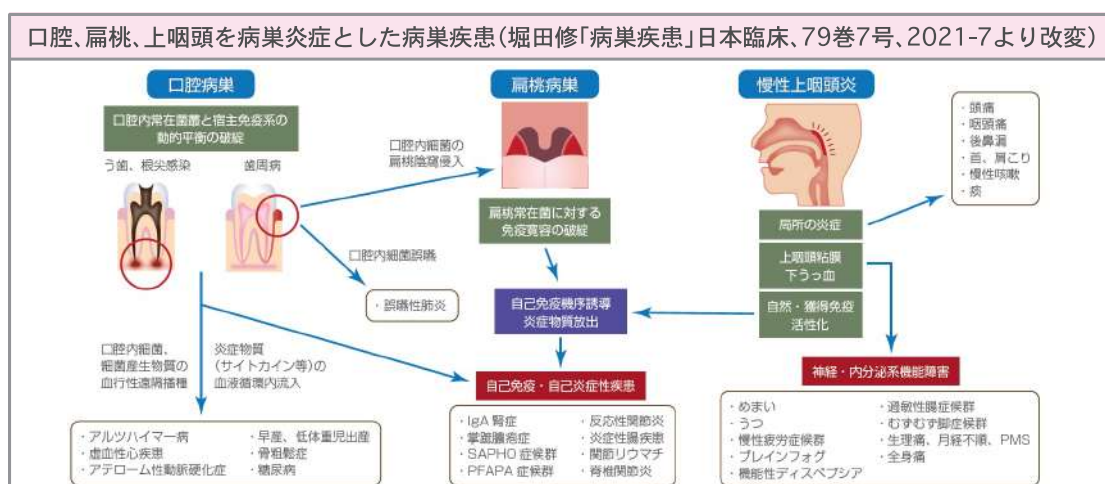
IgA腎症の根本原因を 扁桃に発見

扁桃を摘出すると（＝扁桃摘パルス療法）、血尿もタンパク尿も消えてしまいうことが少なくないことが分かっています。つまり、慢性的な炎症によって扁桃のリンパ球などの免疫細胞が活性化され、遠く離れた腎臓で炎症を引き起こすことになります。

口腔内細菌と全身疾患の 関連性

口腔内の感染が心臓病などの全身疾患を引き起こす可能性があると示唆されたのは200年以上前のことです。1900年代には歯周病が動脈硬化、脳卒中、糖尿病、低体重児出産などと関係することが明らかにされました。最近では歯周病とアルツハイマー病との関連が脚光を浴びていて、近い将来、口腔内の細菌感染治療が脳疾患

治療となる時代を迎える可能性もあります。



慢性上咽頭炎に対する 歯科の役割

鼻呼吸であれば鼻腔の加湿機能によって加湿された空気が上咽頭を通りますが、口呼吸では乾燥した空気が上咽頭に流れ込むため、上咽頭炎を引き起こす可能性を高めます。

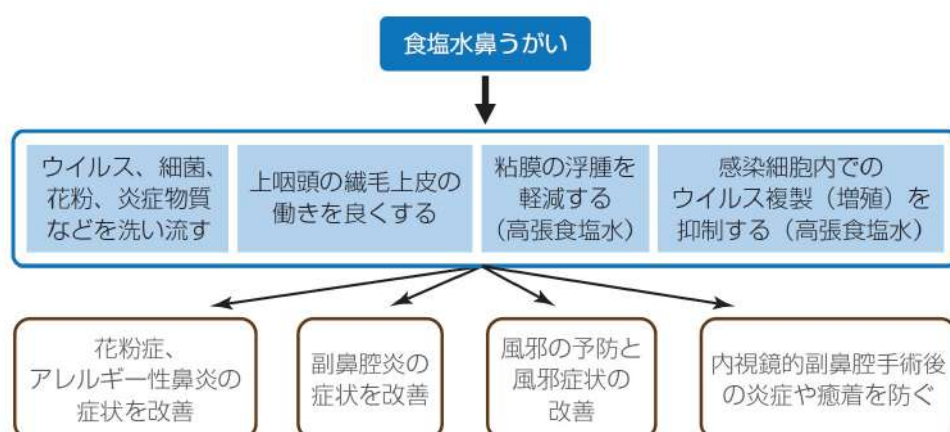
口呼吸の原因はさまざまですが、噛み合わせが悪いことも一因です。また、よく噛まない人は口呼吸になる傾向があります。噛み合わせを改善するとともに、幼少期からよく咀嚼することを教育することも歯科の重要な役割だと考えています。

感染症対策「鼻うがい」

鼻咽腔を直接、洗い流すことができる鼻うがいは、繊毛上皮細胞の働きをよくする効果などから慢性上咽頭炎や口呼吸の補助療法として有効です。

また、鼻うがいはこれまでもウイルス性上気道炎の予防、副鼻腔炎や花粉症の補助治療として推奨されてきました。加えて、生理食塩水から塩素イオンが上皮細胞に取り込まれ、細胞内で次亜塩素酸が作られることから、ウイルスの増殖を抑えることも知られています。

鼻うがいの作用機序と適応疾患



扁桃の感染予防対策 「口とじテープ」

口とじテープは扁桃を守り、風邪やインフルエンザを予防し、掌蹠膿疱症や花粉症、アトピー性皮膚炎や睡眠時無呼吸症候群などの症状の改



※参考文献

(2022年3月1日発行)
デンタルマガジン180号 SPRING

「病巣疾患から見た医科歯科連携
全身疾患の根本治療と歯科の関わり」
宮城県仙台市医療法人モクシン 堀田 修クリニック
院長 堀田 修

2022年5月 加藤新聞 Q & A

Q 新しい年度がスタートして1か月。
新しく買ったもの、または買いたいものは？

院長 B i k e のニューヘルメット、
今年こそツーリング

河川 カバン

加藤 大きな冷蔵庫

倉岡 シンセサイザー(楽器)

松岡 車

Q ストレスの多い世の中ですが…
ストレスの発散方法を教えてください。

院長 うまい酒とうまいつまみ

河川 ねむる

加藤 たべる

倉岡 実家のわんこをモフりたおす

松岡 長風呂

今月のコラム

倉岡 朋子

加藤新聞をご覧いただきましてありがとうございます。助手の倉岡です。

コラムのネタがないなあと調べていると6月9日はDonald Duckの誕生日だそうです。ディズニは好きなんです、彼とはあまり接点なかったのですが、ああそういう誕生日6月だっけ、という感じで(汗)コロナが始まって約2年…ディズニどころかまともに県外にすら出ていない私色々と世の中がもう少し落ち着いてきたら旅行がしたい！

やっぱりディズニやUSJなどのテーマパークは外せませんね。行けてない間に新しくできたエリアやアトラクションは絶対に体験したい！日常からちよつと離れた特別な時間を体験する、今回のQ & Aにもあったストレス発散にもなりますしね。

あとはまだまだ回り切れていない京都観光！最近、世界遺産検定の勉強を始めたので、改めて行ってみたいところばかりです。まだまだ行きたいことやりたいことは尽きませんが、これ以上は院長のおすすめ図書のスペースがなくなるので(笑)実現した旅行についてはまたこの場で話ししたいと思います☆

院長のオススメ図書

○主な鼻の機能

1 呼吸

A ろ過機能

B 加温・加湿機能

C 空気の流量の調節

2 感覚器(嗅覚)

○鼻づまりの原因

1 鼻腔が狭くなり、空気の通りが悪くなった

A 鼻腔の炎症、鼻炎

B 副鼻腔の炎症、俗称、蓄膿症

C A、Bの両方

D 鼻腔形態の異常

2 手術で鼻腔内の組織を取りすぎ、鼻腔が広くなりすぎた

3 鼻腔の広さは正常だが、扁桃組織などにより鼻腔の後ろが閉鎖された
○鼻づまり(口呼吸)による弊害

1 身体の発育への影響

あごの骨、舌、のどの筋肉、さらに下あごとのどの間にある舌骨などの成長を阻害し、気道が狭くなる結果、睡眠時の呼吸障害をきたす。

2 集中力、脳の活動への影響

3 精神面への影響

4 運動能力への影響

5 嗅覚への影響

口呼吸がいびきや無呼吸などの「睡眠呼吸障害」を引き起こし、さら

には「顎の発育障害」まで起こすことについて文献報告があります。幼小児期の鼻づまりは一生を左右します。

鼻呼吸ができない原因は、単に口呼吸が習慣化しているだけではなく、口唇のバランスや鼻咽頭部に問題があることも多いです。

アレルギー性鼻炎であれば口とじテープ、鼻洗浄、薬物療法をおすすめします。

もしかしたら私たちは鼻づまり、口呼吸のことを軽く考えているのかもしれません。

< 参考書籍 >



『こんなに怖い鼻づまり!』

ちくま新書

土曜日午後診療
のお知らせ
～矯正治療～

2022年5/28(土)
6/25(土)

休診日のお知らせ
※日曜・祝日定休

2022年5/7(土)

診療時間変更のお知らせ

5/14(土) 11:00までの診療
6/4(土) 11:00までの診療

予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。
詳しくは院内掲示板、またはHPをご覧ください。